

科目名/授業形態	組織マネジメント/オンデマンド
開講日程(学期・曜日・講時)	10月中旬より順次アップ
担当者	藤原浩一

副題	自分自身と皆が生き生きと働くために	
授業の到達目標	組織の上に立つ人は、組織に働く人々の心理をよく理解し、組織のあり方と構造を設計しつつ、企業の活動目的と結びつけるように組織をマネジメントする必要があります。本授業ではその基本的な考え方を体系的に学ぶことを通じて、よき組織マネジメントの実践者、リーダーとなることを目標とします。	
授業の概要	第1～3回は組織マネジメントを考える基礎を学びます。第1、2回は組織設計や構造など、組織マネジメントを理解するための基礎理論を学びます。第3回は人間心理面からの組織マネジメントを学習します。第4回は第1～3回を踏まえて、会社全体の視点からの組織マネジメントについて、特にコーポレート・ガバナンスとリスク・マネジメントの視点から総括します。第5回は実際の優れた企業事例の紹介をします。第6回はこれから10年先を見据えた組織マネジメントのあり方を考えます。	
授業の計画	第 1 回	組織とは何か？（組織は戦略に従う？：組織構造の基本類型、GM型からアジャイル、チーム型まで）
	第 2 回	組織マネジメントの基礎理論の体系的整理（テイラーのストップウォッチサイエンスから現代まで）
	第 3 回	組織に働く人の心のマネジメント（新しいリーダーシップ、矛盾した心理のマネジメント、心理的安全性等）
	第 4 回	組織行動とコーポレートガバナンスの重要性（組織文化、集団思考、自滅する組織等とコーポレート・ガバナンス、全社視点のリスク・マネジメント(ERM)の重要性)
	第 5 回	優れた組織マネジメントを実行できている企業の研究(キャノンの戦う間接部門、Appleのエコシステム、リクルートの心理学組織マネジメント、三菱商事のリスクマネジメント等)
	第 6 回	人間社会における企業組織が果たす役割（ESG,SDGs,CSV,CSRを戦う力にする視点）
評価方法	評価項目	評価の観点
	中間簡易テスト(レポート)	何を学び考えるべきかと思ったのか、自分なりの簡潔なレポート(A4、1枚以内)
	最終簡易テスト(レポート)	中間簡易レポートの総括
	授業の達成度	授業を受ける前と受けた後での自分の中での変化を自己評価する。特に知識を得ることで見えるようになったことを確認する。
履修生へのメッセージ	一度組織に属して働くとその組織以外のことはよくわからないかも知れません。他の会社組織も同じなのでしょう。IT企業の組織マネジメント、銀行や製造業の組織マネジメントは同じではありません。大企業の組織マネジメントから中小企業が学ぶべきことがあります。逆に規模の小さな組織から大企業が学ぶべきことがあります。より良い組織とはどのようなものか、授業を通じて追求して参りましょう。	
教科書	指定なし。	
参考書	S.クレイナー「マネジメントの世紀1901-2000」東洋経済新報社、2000年	